愛媛県総合科学博物館における ダジック・アースの活用状況

愛媛県総合科学博物館

愛媛県総合科学博物館

平成6年(1994年)に開館

生涯学習拠点として整備

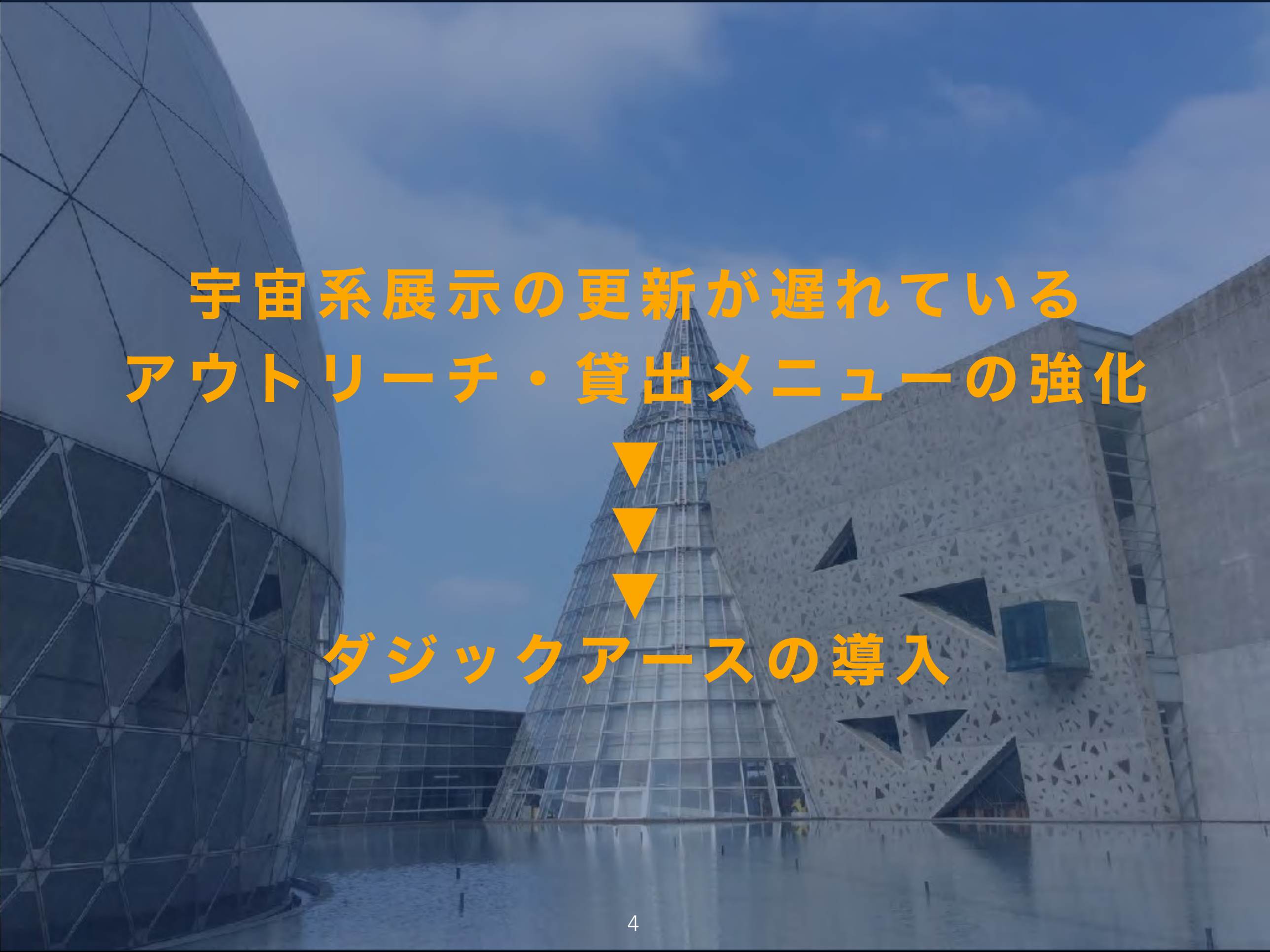
年間約20万人前後が来館

中四国圏域が集客エリア

常設展示：自然史,科学(理工),産業

夏季特別展のほか,年４回の企画展

普及啓発：館内外の講座,資料貸出



宇宙系展示の更新が遅れている
アウトリーチ・貸出メニューの強化

▼

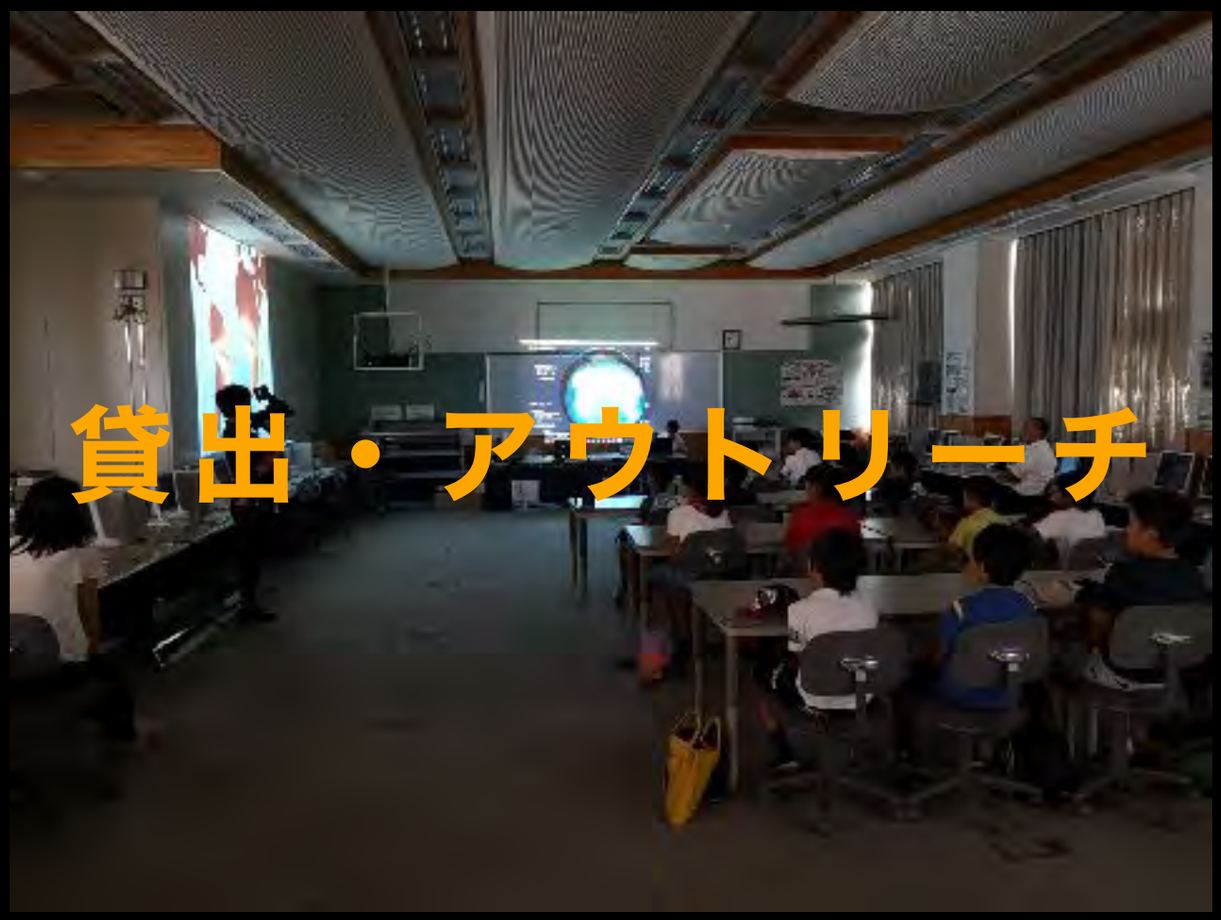
▼

▼

ダジックアースの導入

愛媛県総合科学博物館

展示での活用



貸出・アウトリーチ

普及

日本へ来る
台風の動き

2013年の台風26号。
伊豆大島に大きな
被害を与えた秋台風で、
温帯低気圧化して
足早に去りました。

地表画像はNASAのBlue
Marbleを使用しています。
海面の色は変更してあります。

雲画像はTRMMプロジェクトによる
NCEP/CPC 4km Global IRデータを
用いて作成しています。このデータの
表示はTRMMプロジェクトへのサポ
ートを通じてNOAA GPCPとNASA
による援助を受けています。

2013年10月15日09:00

Dagik

展示での活用

コーナー全景

改修前は月探査衛星の映像コーナー

2013年10月14日12:00

日本へ来る
台風の動き

2013年の台風26号。
伊豆大島に大きな
被害を与えた秋台風で、
温帯低気圧化して
足早に去りました。

地表画像はNASAのBlue
Marbleを使用しています。
海面の色は変更してあります。

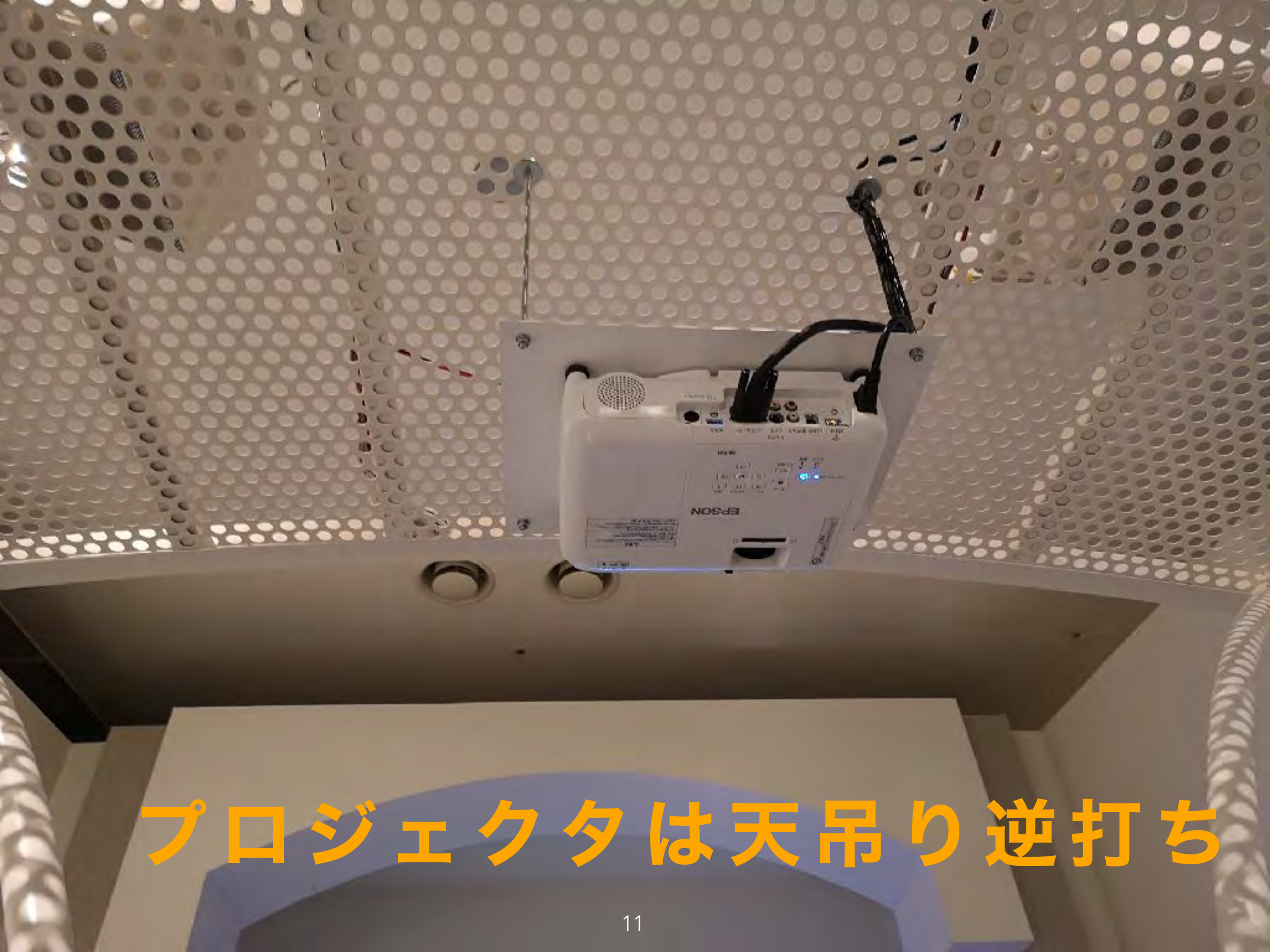
雲画像はTRMMプロジェクトによる
NCEP/CPC 4km Global IRデータを
用いて作成しています。このデータの
表示はTRMMプロジェクトへのサポ
ートを通じてNOAA GPCPとNASA
による援助を受けています。

2013年10月14日12:00

Dagik

球形スクリーンは直径1.5M

FRP製



プロジェクタは天吊り逆打ち

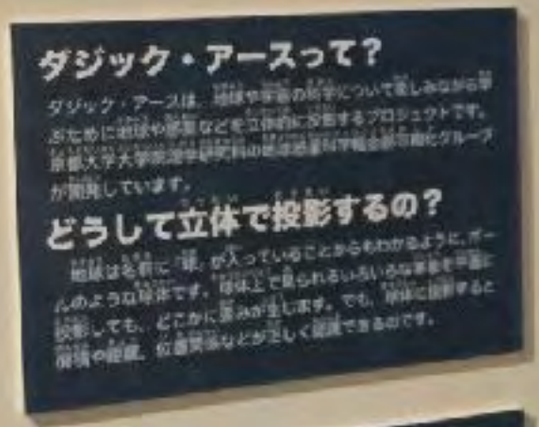
操作卓はトラックボール

解説パネル

デジタル4次元地球儀
Dagik Earth
ダジック・アース
http://earth.dagik.org/

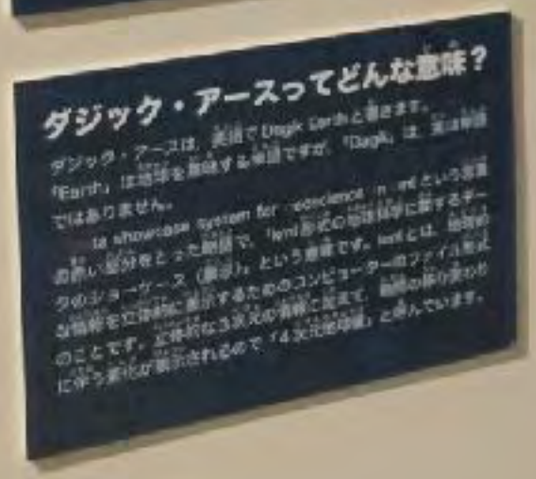
投影しているコンテンツ
木星 / もくせい /Jupiter

日本へ来る台風の動き


ダジック・アースって?
どうして立体で投影するの?

火星 / かせい /Mars

東北地方太平洋沖地震による
津波が伝わっていく様子


ダジック・アースってどんな意味?

月 / つき /Moon

木星 もくせい
Jupiter

地球 ちきゅう
Earth (台風)
2018/10/11 03:00

15日09:00

日本へ来る
台風の動き

2013年の台風26号。
伊豆大島に大きな
被害を与えた秋台風で、
温帯低気圧化して
足早に去りました。

地表画像はNASAのBlue
Marbleを使用しています。
海面の色は変更してあります。

雲画像はTRMMプロジェクトによる
NCEP/CPC 4km Global IRデータを
用いて作成しています。このデータの
表示はTRMMプロジェクトへのサポ
ートを通じてNOAA GPCPとNASA
による援助を受けています。

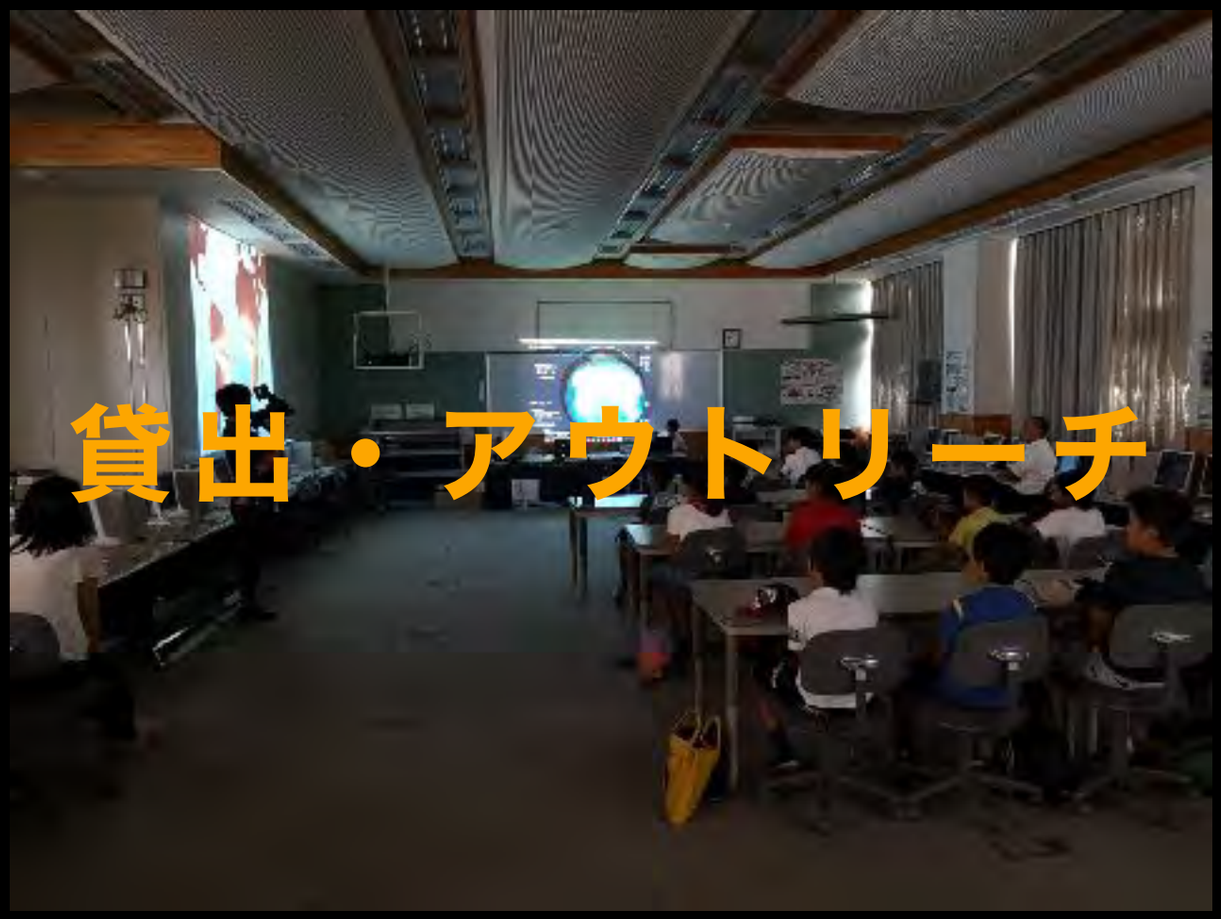
2013年10月15日09:00

Dagik

９月から運用開始
大きなトラブルなし

愛媛県総合科学博物館

展示での活用



貸出・アウトリーチ

普及

貸出・アウトリーチ

貸出

今治市内の小学生を対象としたサイエンスキャンプで活用

- 大陸移動のコンテンツ→古生物の授業展開
- 手作り地球儀

6億年前から
現在までの
大陸移動
Dagik Team
Arizona大学
0年

機材

- バルーン（２Ｍ球，１.２Ｍ半球，１Ｍ半球）
- ブロワー＋ノズル
- プロジェクター台＋三脚
- DVD+解説書，CD-R

アウトリーチ

今治地域の教員研修会へ持参

- 操作講習
- 手作り地球儀の紹介

アウトリーチ

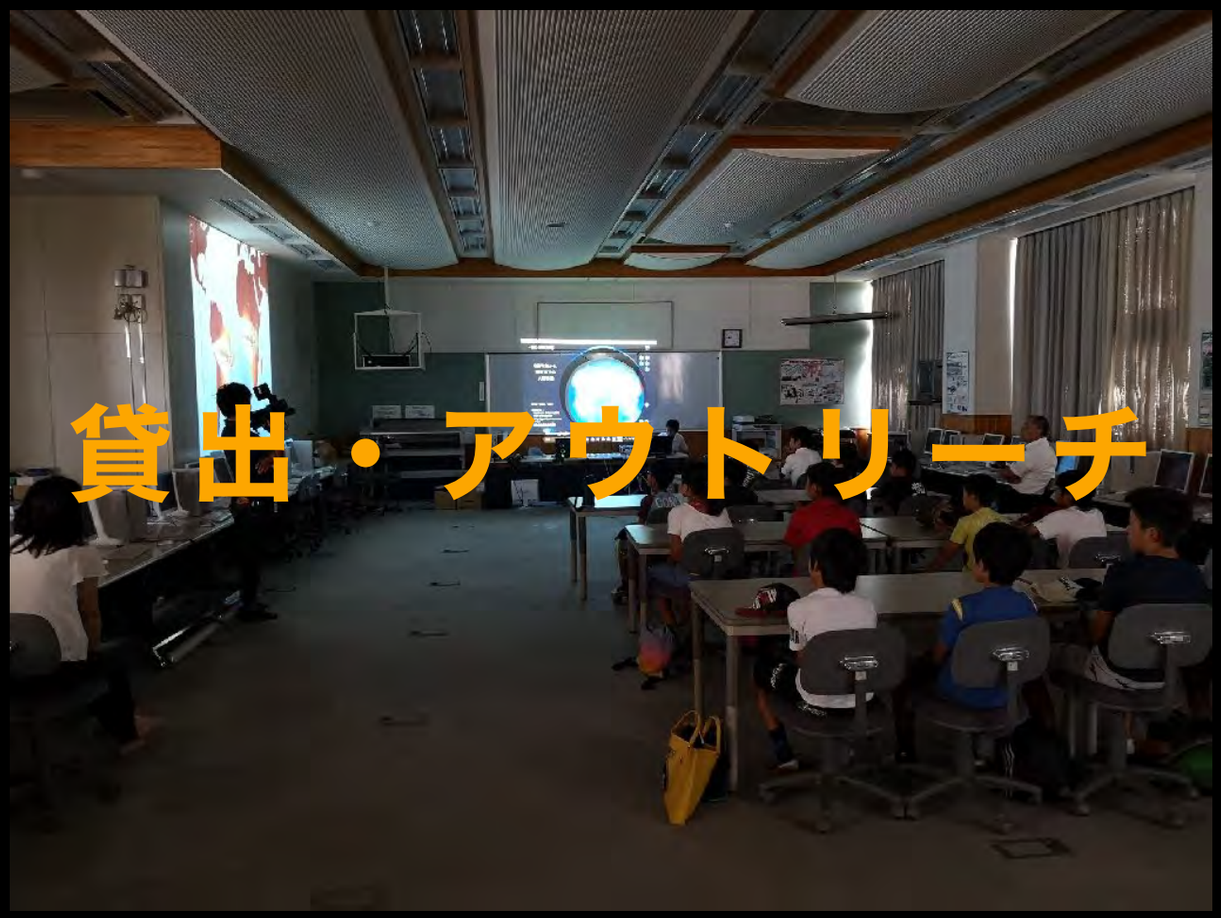
- 県内対象
- 非営利
- 学芸員1人あたり３回/月以内
- 昨年度96回

貸出

- 県内に限定しない
- 非営利
- 利用者が送料負担
- 昨年度25回

愛媛県総合科学博物館

展示での活用



貸出・アウトリーチ

普及

普及

「教員のための博物館の日」で紹介

教員のための博物館の日

今年度の開催情報　過去の開催情報　概　要

教員のための博物館の日とは？

博物館には、学校の授業に役立つ学習資源がたくさんあります。教員のための博物館の日は、学校の先生に「博物館に親しみを持ってもらうこと」、「博物館の学習資源を知ってもらうこと」を目的としたイベントです。子どもたちに科学の不思議さ、楽しさ、学ぶ喜びを感じてもらうために、まずはその教育を担う先生方に是非博物館を楽しんで頂きたいと思っています。

過去にはこんなプログラムがありました（国立科学博物館の例）

先生のための
スペシャルガイドツアー

学校の先生向けに授業で使えたり、子供が興味を持ちやすい展示をご中心に紹介しました。

小学校の先生におくる理科のコツ
～火の使い方講座～

東京都中学校理科教育研究会が担当実験の基礎講座を行いました。

ヒトの骨と人類進化の話

国立科学博物館人類研究部の研究員が、骨格標本などの活用方法をアドバイスしました。

学校団体向けプログラムの紹介

国立科学博物館の学校団体向けかはくスクールプログラムを先生たちにも体験してもらいました。

国立科学博物館の
学校連携事業紹介展示

教材として使える
海にすむ無脊椎動物

博物館活用事例の紹介

地球の昼と夜:9月
太陽光の入射:3月
季節による違い
2012年5月の金環日食
地球・月・惑星
地球

2000 年に起きた地震
世界全域： 1496
日本周辺： 183

15日09:00

日本へ来る台風の動き

2013年の台風26号、
伊豆大島に大きな
被害を与えた秋台風で、
温帯低気圧化して
足早に去りました。

地表画像はNASAの
Marbleを使用しています。
海面の色は変更してあります。

雲画像はTRMMプロジェクトによる
NCEP/CPC 4km Global IRデータを
用いて作成しています。このデータの
表示はTRMMプロジェクトへのサポ
ートを通じてNOAA GPCPとNASA
による援助を受けています。

2013年10月15日09:00

Dagik

新しい科学の姿を示す

▼科学館が果たす役割の１つ

▼

展示はもっとも効果的に示す方法

来館できない方々へのフォロー

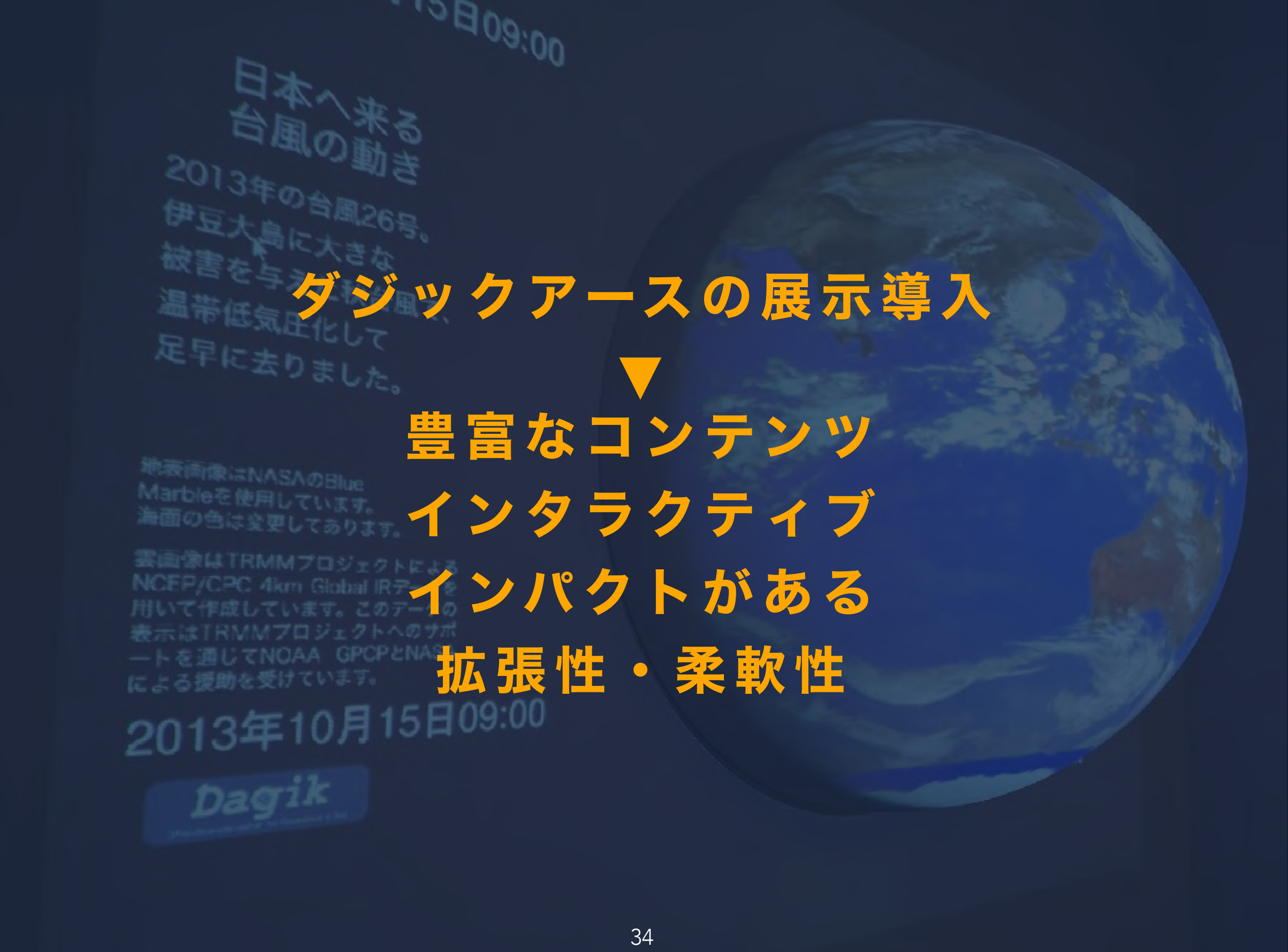
誰もが

わかりやすい

興味を持ってもらえる

▼

展示を考える上で重要



ダジックアースの展示導入
▼
豊富なコンテンツ
インタラクティブ
インパクトがある
拡張性・柔軟性

貸出・アウトリーチ・普及

▼

感触は良好

教員目線での応用

関連機関との連携

セミナーの開催

愛媛県総合科学博物館

展示での活用

ご清聴

ありがとうございました

貸出・アウトリーチ

普及

2013年10月08日06:00

日本へ来る
台風の動き

2013年の台風26号。
伊豆大島に大きな
被害を与えた秋台風で、
温帯低気圧化して
足早に去りました。

地表画像はNASAのBlue
Marbleを使用しています。
海面の色は変更してあります。

雲画像はTRMMプロジェクトによる
NCEP/CPC 4km Global IRデータを
用いて作成しています。このデータの
表示はTRMMプロジェクトへのサポ
ートを通じてNOAA GPCPとNASA
による援助を受けています。

2013年10月08日06:00

Dagik

月　つき
Moon

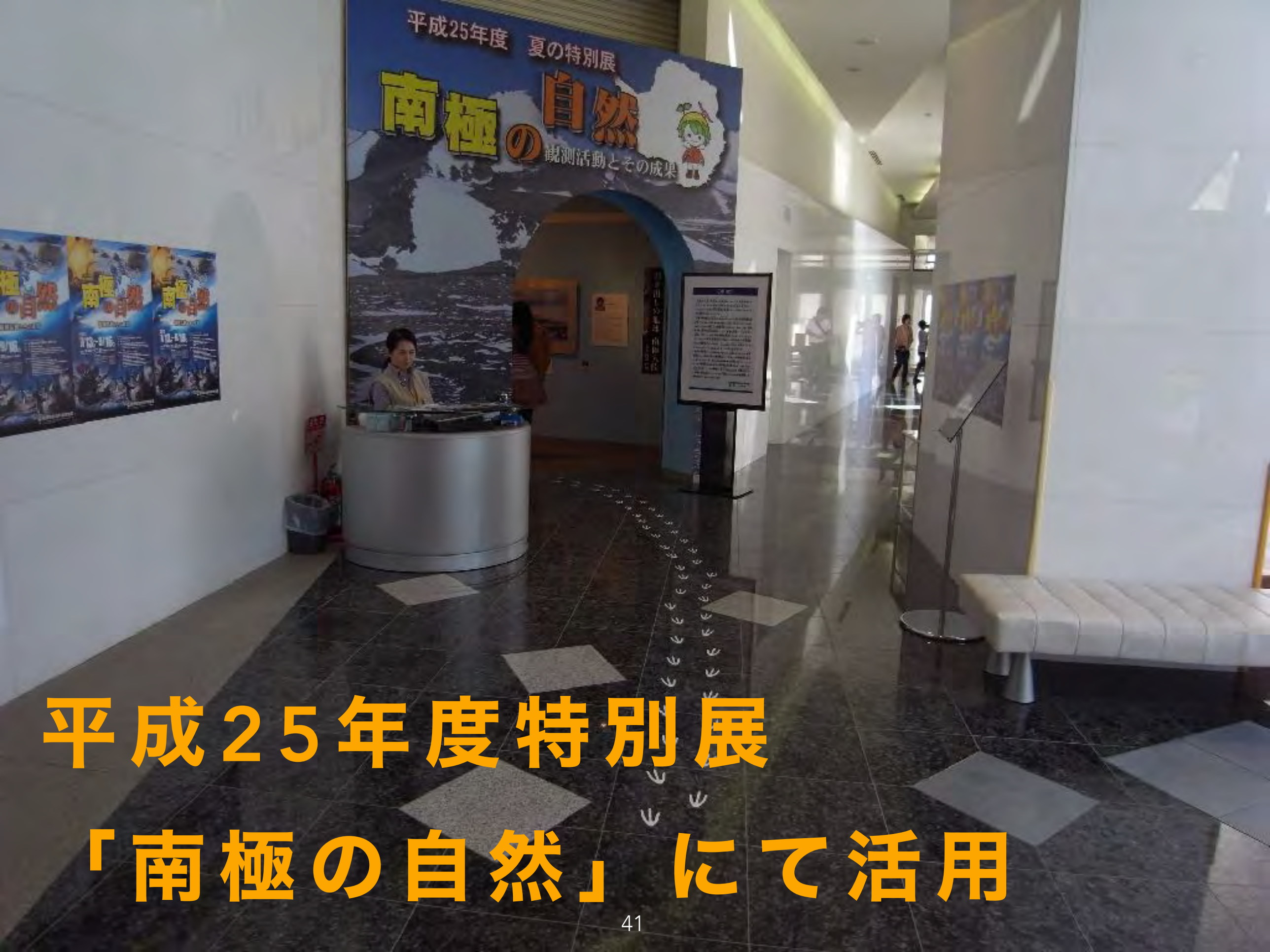
地球の衛星
大きさは地球の約1/4

月の自転周期は、公転周期と
全く同じなので、地球から月
の裏側は見えない

公転周期 27.3217日
自転周期 27.3217日
赤道半径 1737.4 km
質　量　地球の0.0123倍
重　力　地球の0.17倍

画像提供：
The U.S Geological Survey

Dagik



平成25年度特別展
「南極の自然」にて活用

観測活動

CARP
EHIME FC